

旧島松駅通所

明治時代、宿泊と交通の要所であった駅通所。
明治17年に久蔵が正式に経営を任されました。



特集 中山久蔵関係資料群 市指定文化財に

3月1日、中山久蔵関係資料群が、新たに市指定文化財になりました。バイソンやキタヒロシマカイギュウの化石、サンドリッジ成大規模斜交層理の転写標本に続いて4番目の文化財です。ここでは、久蔵の功績や赤毛について紹介します。

問合せ エコミュージアムセンター知新の駅 (☎373-0188)

不可能を可能に



道南以北で稲作は難しい。そう考えられていた中、稲作を成功させたのが中山久蔵です。

明治4年、久蔵は島松川の右岸に単身で移住。その後、明治6年に亀田郡大野村(現在の北斗市)から寒さに強い赤毛の種もみを入手し、試作を始めましたが、思うように発芽しませんでした。

水温の低さが原因と考えた久蔵は、暖水路を作りました。川から引いた水を直接水田に入れるのではなく、一度溜め、日光で温めてから水田に入れたのです。また、昼夜を問わず風呂の湯を水田に運び入れ、水温を保ったともいわれています。

苦勞のかいもあり、秋には10アール当たり345kgの赤毛を収穫することに成功。開拓移民に無償で種もみを配布し、稲作の手法について指導をしました。道南以北でも稲作ができることを証明したのです。

実はすごい！赤毛の子孫



寒さに強い赤毛は、今の北海道米に遺伝子を残しています。「ゆめぴりか」や「ななつぼし」も、赤毛の子孫です。

久蔵が稲作を諦めていたら、おいしい北海道米は生まれていなかったかもしれません。

赤毛を後世に残すために



現在、赤毛は一般に流通していません。稲穂の先の長い毛を除去するのに手間が掛かり、大量生産が難しいことが理由の一つです。

そんな中、久蔵の功績を後世に残すために活動しているのが、北広島市水稻赤毛種保存会です。赤毛を自ら栽培するほか、毎年西部小学校4年生に、赤毛の田植え・収穫体験の指導なども行っています。

北広島商工会や市内の菓子店などでは、加工品として気軽に赤毛を味わえるようにするなど、さまざまな方法で赤毛の魅力を広げるための活動を行っています。

久蔵の功績を未来へつなぐ



市では、市内の貴重な文化財を後世に守り伝えていくため、特に文化的価値が高いものを、市の文化財として指定できることを条例で定めています。

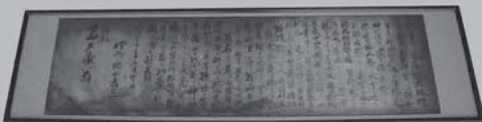
市指定文化財になった中山久蔵関係資料群は、大きく2つのグループに分けることができます。

／ 紹介します ／
中山久蔵関係資料群

明治14年9月、明治天皇が休憩された時に立てられた看板。久蔵が自宅（後の駅通所）を増築して迎えたことをねぎらい、宮内省（現在の宮内庁）が置いていったものです



明治天皇を迎えた褒美として贈られた銀盃と、それを収納した木箱



久蔵と同じ河内国（現在の大阪府）出身の勝山孝三から送られた手紙



久蔵が開墾を始めた明治4年から、亡くなる前年の大正7年までの事跡をまとめた書物

*紹介した資料は、250点以上ある中山久蔵関係資料群の中の一部です。エコミュージアムセンター知新の駅や、旧島松駅通所で見ることができます。

1つ目は、旧島松駅通所保存修理古文書です。昭和59年に島松駅通所を修理工事した時に、板壁の下張りなどから発見された、島松駅通所の運営などに関する文書です。

2つ目は、中山家資料です。久蔵の子孫から寄贈された、久蔵に関する写真や賞状、手紙などが含まれます。

久蔵の実績が市や北海道にとって重要であること。劣化しているものは修復を進めていること。適切な方法で、永年保存するための措置をとっていること。企画展などを通して、資料の価値を市民と共有していること。これらが専門的視点から評価さ

稲作だけじゃない！

久蔵の活躍

ブドウやレンコンなど、さまざまな作物を栽培。旧島松駅通所や北海道庁旧本庁舎の池で見られたハスも、初めは久蔵がレンコンとして栽培したものです。また、学校の建築や橋の修繕のために寄付するなど、公共事業にも貢献しました。

れ、市指定文化財になりました。北海道米の原点となった赤毛の収穫に成功した久蔵。手間を惜しまず挑戦し続けた彼の功績は、未来の北広島にこれからも語り継がれていきます。



interview

久蔵の功績や人柄を知ってほしい

私は久蔵のやしゃごに当たります。久蔵の功績を多くの人に知ってもらいたいと思い、自宅にあった久蔵に関する資料を市に寄贈しました。

久蔵は単身で北海道に移住し、信念を持ち、稲作に励みました。私利私欲で動いたり、自分の努力や成功を自慢したりするのではなく、無償で種もみを配布したほか、稲作の手法を積極的に教えるなど、人柄も魅力的な人物だったと聞いています。

中山久蔵関係資料群は、中山家だけのものではなく、市の宝として、広く市民の皆さんに見てもらいたいです。



中山家5代目子孫
中山徹さん